

大切なペットはどうするの？

家族同然の大切なペットの命を守るために、今から備えましょう

東日本大震災の教訓

動物愛護

被災者の心のケア

人への危害防止 の観点から

原則 同行避難

です

※地区の避難所のペット対応を必ず調べておきましょう

でも、心配事もたくさんありますよね…

におい

衛生管理



避難所では、屋外にペットスペースが設定されていることほとんどです。

例: 駐輪場、渡り廊下

サッカーゴールにブルーシートをかけ、その中で など



心配事を減らすために、チェックシートを使って備えましょう



すべて飼い主としての責任

所有者登録

- 首輪と迷子札
- マイクロチップ
- 鑑札と狂犬病予防接種済票（犬の場合）



健康管理

- 混合ワクチン、狂犬病予防注射（犬の場合）
- 寄生虫の予防・駆除（ノミ・ダニ・フィラリアなど）
- 不妊去勢手術

しつけ

- 「待て」「おいで」「お座り」「伏せ」など基本的なしつけを行う
- キャリーバッグやケージに慣らす
- 人や他の動物を怖がったり、攻撃したりしないようにする
- 不必要に吠えないようにする
- 決められた場所で排泄できるようにする

避難用具・備蓄品

- 首輪・リード
- キャリーバックやケージ
- ペット用靴下や靴（がれき等によるけが防止）
- 療養食・薬
- 食器とペットフード・水（7日分程度）
- トイレ用品・排泄物処理用品
- 飼い主の連絡先、預け先などの情報
- ペットの写真（印刷したもの・データ）
- おもちゃ（お気に入りでおいがついているも



その他にも
洗濯ネット（猫の場合）、
ブラシやウエットタオルなどのペット用品があると安心！

出典:『避難所のペット飼育管理マニュアル』静岡県健康福祉部生活衛生局衛生課

中部防災だより NO. 26 令和7年冬号

トピックス

- 大切な命を守るために
- ・避難計画を立てよう
- ・どんな避難の形があるの？
- ・大切なペットはどうするの？



避難計画を立てよう

自分の命、大切な人の命、家族同然のペットの命を守るために、どんな備えや心構えが必要か紹介します。災害が起きてから準備するのではなく、「今」備えましょう。

知っていますか？わたしの避難計画



「わたしの避難計画（通称：わたひな）」とは、
身の回りの災害リスクを知り、
「いつ」「どこに」「誰と」避難するのかをあらかじめ確認するもの

- 自宅は、大雨による浸水の危険性はあるの？
- 津波の浸水被害は？
- 避難する場所はどこ？（災害種別で場所が違うことも…）
- 避難に時間がかかる人はいる？
- 情報はどうやって集める？



あなたはパッと答えられますか？

これらは、災害が起ってから調べたり、
決めたりするのでは遅いのです！



「いつ」「どこへ」「誰と」避難をしたらよいのか
今のうちに確認しなければ！



「わたしの避難計画」を作りましょう

「わたしの避難計画（Web版）」は
県HPにて公開しています。

5~10分程度で完成します！



「わたしの避難計画」
作成サイトはこちら

どんな避難の形があるの？

※下記フローチャートは、避難の例です。テレビやラジオ、行政などからの情報、自分の目と耳で確かめた情報をもとに、下のフローチャートを参考にして判断しましょう。

